

2023年6月25日(日) 焼岳 メンバー：L岩田、有賀、児玉、小嶋、(会員外)濱、窪田

会員外メンバーの夏山はじめ目的で焼岳山行を計画。コースは中の湯焼岳登山口から入山し、焼岳経由、上高地へ下山するルート。焼岳は魅力的なようで、思いのほか参加者が増えた。(2名体調不良で不参加となったのは残念だった)

完全に梅雨の期間中だが当日は晴れ。日の光を浴び、暑い中の登山となった。

中の湯登山口の駐車場は満車になっていると予想し、沢渡駐車場に車を止め、ちょうどいたジャンボタクシーで移動した。登山口は、駐車場だけでなく路駐もいっぱいでも車の通行もままならない状況。タクシーでの移動は正解だった。

登山口からの登りは約800m。ゆっくりペースで話をしながら登る。様々な花が咲く中、女性登山者が注目している花があった。聞いてみるとイチヨウランとのこと。珍しい花なのかなあ？(写真は無し) 樹林帯を抜けると山頂が見え、モクモクと煙(水蒸気?)が立ち上っているのが見える。(写真1) なかなか激しい山だ。

南北山頂の鞍部でのんびりと昼食。緑の火口湖(正賀池)もよく見える。

写真1 山頂直下からの噴煙

写真2 緑の正賀池



山頂は混雑。人が多い。なぜか男女二人のペアや外人さんが多い。考えてみると、日本百名山で観光地の上高地も近く、日本有数の火山で登山口から歩いて日帰りできる・・・みんなが行きたくなるわけだ。(写真3)

写真3 山頂で記念写真

写真4 中尾峠から焼岳を振り返る



下りは焼岳小屋経由上高地へ下山するルート。こちらは人が少ない！焼岳からはガレ場の下り。あちこちから煙が出ている。また、足場が悪く、登山道も分かりにくい。途中登山道を外れて下山している二人組がおり、とても苦労しているようだった。（写真4）ルートをよく見て間違わないようにしないと。中尾峠を越えて焼岳展望台へ少し登り返す。するとこのピークもあちこちから煙が上がっている。

焼岳小屋からは樹林帯の急な下山路。鎖あり、はしごあり。一人ずつ慎重に降りる。傾斜が緩くなったところで、道端の岩に囲まれた穴の中にヒカリゴケを発見。ほんとに光っているみたいに見える。（写真5）

梓川のエリアまで下りたところで、外人さんが何かを指さして教えてくれている。そこには・・・サル！（写真6）道のすぐ脇で子連れでいるが全く逃げない。悠々と笹を食べていた。よく見ると周りにあちこちサルがいる。ちょっと怖い。写真を撮りまくって先を急ぐ。

15:00 帝国ホテル前で行きに乗せてもらったタクシーを予約しておいた。何とか間に合って、山行終了。

写真5 ヒカリゴケ



写真6 サル



【コースタイム】

06:50 焼岳登山口
10:40 焼岳 11:30
12:20 中尾峠
12:40 焼岳小屋
14:30 焼岳登山口（上高地）
15:00 帝国ホテル

～おまけ～

山行終了後、竜島温泉 せせらぎの湯で入浴。その後、車で帰ろうとすると、今度はクマの子が！！ぬいぐるみみたいでめっちゃ可愛い。でもすぐそばに親熊がいるかと思うとめっちゃ怖い！さっさと車で脱出。やっぱりクマいるんだなあ。

